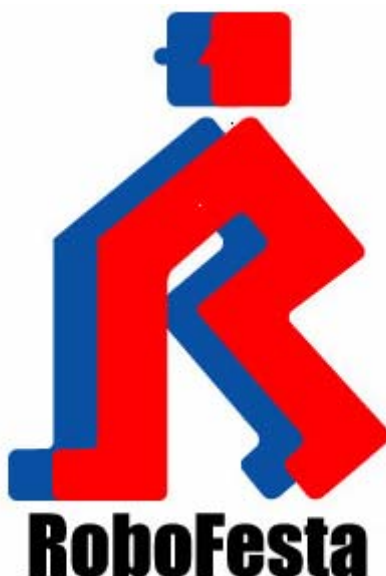


ロボフェスタ・シンポジウム

ロボフェスタ 2005 が目指したロボット創造教育



開催場所: テクノプラザ プラザホール
〒509-0108
岐阜県各務原市須衛町 4-179-1
TEL 058-379-2232
FAX 058-379-2232
<http://www.pref.gifu.lg.jp/pref/s11338/vr/>

開催日時: 2006年8月11日(金)
開場 13時00分
開演 14時00分

参加費: 無 料

主 催: ロボフェスタ 2005 実行委員会
NPO 法人国際ロボフェスタ協会
後 援: (独)科学技術振興機構(予定)
岐阜県ロボット産業推進協議会
中日新聞社

お問い合わせ先:
robofesta-inquiry@robofesta.org
* お問い合わせは、メールでお願いします。

ロボフェスタ・シンポジウム概要

昨年中京地区(愛知、三重、岐阜の3県)で開催されたロボフェスタ2005は、2005年の3月から8月までの間に延べ3万人の入場者を集め、ロボットおよびロボット競技持つ多様な可能性を示した。

本シンポジウムは、ロボフェスタ2005開催1周年を記念し、その意義を再確認すると共に、ロボット創造教育に関する新たな活動の方向性を検討するものである。

本シンポジウムでは、内閣府の科学技術を担当されている松田岩夫大臣を基調講演にお招きして開催する。

また、特別講演として、愛知県からからくり人形師九代玉屋庄兵衛氏、溝口正成 犬山市文化史料館館長をお招きして、日本の技術を伝統と題し、講演と実演をしていただく。会場の地元の岐阜県からは、佐々木岐阜大学教授をお招きして、岐阜県におけるロボット研究の状況をお話願う。

さらに、パネルディスカッションでは、ロボフェスタの提唱者である小野衆議院議員をお招きして、NPO法人国際ロボフェスタ協会、ロボフェスタ2005実行委員によるロボット創造教育についてディスカッションを行う。

1. シンポジウムテーマ 「ロボフェスタ2005が目指したロボット創造教育」

2. 日時：2006年8月11日(金) 開場 13時00分
開演 14時00分

3. 場所:テクノプラザ プラザホール
〒509-0108 岐阜県各務原市須衛町 4-179-1
TEL 058-379-2232 FAX 058-379-2232

4. 参加費 無 料

プログラム

14:00～14:05 開会の挨拶

大熊繁 ロボフェスタ2005実行委員会実行委員長、名古屋大学 教授

14:05～15:05 特別講演

①「日本の技術と伝統」

九代玉屋庄兵衛氏 からくり人形師

溝口正成 犬山市文化史料館 館長

②「岐阜地区におけるロボット開発、ロボット教育について」

佐々木実 岐阜大学 教授

15:05～15:25 基調講演 「ロボット社会への期待」

松田岩夫 大臣

15:25～15:40 休憩

15:40～16:55 パネルディスカッション 「ロボット創造教育を考える」

パネリスト

小野晋也 衆議院議員 ロボフェスタ提唱者

中野栄二 NPO法人国際ロボフェスタ協会理事長、千葉工業大学 教授

福田敏男 名古屋大学 教授

石田宗明 三重大学 教授

矢野賢一 岐阜大学 助教授

コーディネーター

石原秀則 ロボフェスタ2005実行委員会幹事、香川大学 助教授

16:55～17:00 閉会の挨拶

中野栄二 NPO法人国際ロボフェスタ協会理事長、千葉工業大学 教授

総合司会： 野口和彦 NPO法人国際ロボフェスタ協会事務局長、三菱総合研究所 研究理事

以 上

会場アクセス

テクノプラザ

<http://www.pref.gifu.lg.jp/pref/s11338/vr/>

【岐阜バス】 ■VRテクノ須衛線、■倉知線

「三柿野駅(名鉄)」→約15分→「VRテクノジャパン」(下車すぐ)

新岐阜駅(名鉄各務原線)←急行で15分→三柿野駅

新名古屋駅(名鉄犬山線)←急行で40分→三柿野駅

■尾崎団地線

「新岐阜バスセンター」→約45分→「VRテクノジャパン」(下車すぐ)

【JR高山本線】「蘇原駅」→約10分

岐阜駅(JR)←約15分→蘇原駅

【JR東海道新幹線】「岐阜羽島駅」→約50分

【東海北陸自動車道】「岐阜各務原I.C」→約15分

「関I.C」→約10分

【国道21号線】 県道「江南・関線三ツ池町交差点」→約10分

